



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東
 コード番号 7809 URL <https://www.kotobukiya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理業務本部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810
 定時株主総会開催予定日 2021年9月28日 配当支払開始予定日 2021年9月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	9,543	29.4	987	332.2	989	327.4	679	801.9
2020年6月期	7,374	△11.1	228	△16.1	231	△5.4	75	△45.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	255.70	249.96	22.5	12.2	10.3
2020年6月期	27.96	27.34	2.7	3.0	3.1

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 -百万円 2020年6月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	8,467	3,240	38.3	1,243.77
2020年6月期	7,787	2,789	35.8	1,038.13

(参考) 自己資本 2021年6月期 3,240百万円 2020年6月期 2,789百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	1,583	△955	△477	445
2020年6月期	667	△645	48	297

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00	40	53.7	1.4
2021年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00	108	15.6	3.5
2022年6月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		16.0	

3. 2022年6月期の業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	20.5	1,200	21.5	1,170	18.3	812	19.4	305.38

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	2,776,800 株	2020年6月期	2,756,400 株
② 期末自己株式数	2021年6月期	171,067 株	2020年6月期	69,393 株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	2,658,955 株	2020年6月期	2,696,564 株

(注) 期末自己株式には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2021年6月期 101,600株、2020年6月期 0株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2021年6月期 33,681株、2020年6月期 0株）が含まれております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ

「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞等により、先行きが非常に不透明な状況となっております。

当社を取り巻く事業環境につきましても、個人消費の多様化や少子化に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なり、事業環境は厳しい状況が続いております。一方、有料動画配信市場の成長、モバイル端末の普及や通信インフラの発達によるスマートフォンゲーム市場は多様化・拡大が続くと共に、人気コンテンツの映画化やアニメ化、業界自体の収益機会の拡大も期待されています。

このような環境の中、当社はこれまでの方針を継続し、世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP（Intellectual Property：キャラクターなどの知的財産）による製品開発に特に注力してまいりました。

卸売販売につきましては、国内市場では、新規自社IP製品「創彩少女庭園」より「結城まどか」を発売、自社IP製品「メガミデバイス」より「BULLET KNIGHTS エクソシスト」を発売、自社IP製品「フレームアームズ・ガール」シリーズより「フレームアームズ・ガール マガツキ」を発売し、プラモデルの売上に貢献しました。プラモデル関連製品である「モデリング・サポート・グッズ」等も堅調な推移をみせ、業績を牽引しました。他社IPでは大人気アニメ「鬼滅の刃」より「我妻善逸」、「嘴平伊之助」を発売し、フィギュアの売上に貢献しました。

海外市場の北米地域では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が依然続くものの、フィギュア製品、プラモデル製品ともに売上は堅調な推移をみせました。

アジア地域では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は限定的にとどまり、プロモーション活動を行うと共に、販売チャネル拡大を推進した結果、フィギュア製品の売上が好調な結果となりました。また、国内と同様に「フレームアームズ・ガール」シリーズを中心に「メガミデバイス」などの自社IPのプラモデル製品も好調な結果となりました。

直営店舗による小売販売につきましては、「にじさんじ」関連商品が好調に推移するものの、新型コロナウイルス感染症に起因するインバウンド需要減少を主な要因とした来店客数の大幅な減少により、売上は伸び悩みました。店舗運営におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定期的な換気や消毒、レジ前に飛散防止シートの設置など行い、衛生管理やスタッフの健康管理を徹底いたしました。ECサイトによる通信販売におきましては、巣ごもり需要と他社との差別化として直営店舗限定商品や特典の開発を積極的に推進したことにより、売上は好調に推移しました。

以上の結果、当事業年度の売上高は9,543,737千円(前年同期比29.4%増)、営業利益は987,271千円(前年同期比332.2%増)、経常利益は989,056千円(前年同期比327.4%増)、当期純利益は679,907千円(前年同期比801.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末の総資産は8,467,770千円となり、前事業年度末に比べ679,850千円(8.7%)の増加となりました。

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は4,898,309千円で、前事業年度末に比べ602,536千円(14.0%)増加しております。これは商品及び製品の減少136,828千円があった一方で、現金及び預金の増加286,381千円、前渡金の増加440,832千円があったことが主な要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は3,569,461千円で、前事業年度末に比べ77,313千円(2.2%)増加しております。これは土地の増加94,376千円があったことが主な要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は1,927,225千円で、前事業年度末に比べ389,727千円(25.3%)増加しております。これは未払法人税等の増加272,463千円、未払消費税等の増加100,341千円があったことが主な要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は3,299,606千円で、前事業年度末に比べ161,358千円(4.7%)減少しております。長期借入金の減少178,751千円があったことが主な要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は3,240,938千円で、前事業年度末に比べ451,480千円(16.2%)増加しております。これは配当金の支払いによる減少40,305千円、株式給付信託(J-ESOP)の導入などによる自己株式の増加による減少199,689千円があった一方で、ストック・オプションの行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ5,783千円増加したこと並びに当期純利益679,907千円を計上したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ148,264千円増加し、445,723千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、前渡金の増加440,832千円等による資金の減少があった一方で、税引前当期純利益985,728千円、減価償却費739,809千円、売上債権の減少112,419千円及び未払消費税等の増加100,341千円等による資金の増加を主な要因として、1,583,715千円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出770,125千円及び無形固定資産の取得による支出40,830千円を主な要因として、955,015千円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出399,376千円、自己株式の取得(株式給付信託による取得を含む)による支出199,689千円、配当金の支払額40,340千円による資金の減少があった一方で、長期借入れによる収入200,000千円による資金の増加を主な要因として、477,838千円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

今後の経済動向は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、しばらくの間は厳しい状況が続くと見込まれます。

このような環境の下、当社はフィギュア、プラモデル製品等の企画・開発・販売を行う卸売販売、直営店舗・ECサイトによる製品の販売を行う小売販売に取り組んでまいります。他社IPを中心とした製品の販売に加え、「創彩少女庭園」、「メガミデバイス」及び「フレームアームズ・ガール」等の自社IP製品の開発・製造についても継続的に注力してまいります。また、アジア、北米を中心に現地企業とのアライアンスによる販売強化に注力してまいります。

自社IPの展開としては、新規自社IP「アルカナディア」ではプロモーション活動を積極的に行い、コンテンツの認知度向上を行ってまいります。また、低年齢層を対象とした新規自社IP「エヴォロイド」で新たな購買者層の拡充を図ってまいります。他社IPの展開としては、「鬼滅の刃」より「煉獄杏寿郎(「煉」は「火」+「東」が正しい表記)」また、「呪術廻戦」より「伏黒恵」、「釘崎野薔薇」及び「五条悟」の発売を予定しております。

この結果、2022年6月期は売上高11,500百万円(対前期比20.5%増)、営業利益1,200百万円(対前期比21.5%増)、経常利益1,170百万円(対前期比18.3%増)、当期純利益812百万円(対前期比19.4%増)を見込んでおります。

なお、上記に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間での比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。なお、今後のIFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当事業年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,561,588	1,847,970
売掛金	1,157,478	1,045,059
商品及び製品	718,784	581,956
未着品	—	44,703
仕掛品	382,501	470,392
貯蔵品	5,142	4,958
前渡金	219,843	660,676
前払費用	173,552	238,220
その他	76,880	4,372
流動資産合計	4,295,773	4,898,309
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,857,458	1,791,785
工具、器具及び備品（純額）	44,698	35,773
金型（純額）	239,161	237,007
土地	708,408	802,784
建設仮勘定	89,872	129,546
有形固定資産合計	2,939,599	2,996,898
無形固定資産		
ソフトウェア	67,127	71,970
ソフトウェア仮勘定	6,770	—
その他	109	109
無形固定資産合計	74,007	72,079
投資その他の資産		
関係会社出資金	7,000	7,000
出資金	12,330	12,330
敷金及び保証金	165,779	166,168
繰延税金資産	159,425	174,255
その他	134,005	140,729
投資その他の資産合計	478,540	500,482
固定資産合計	3,492,147	3,569,461
資産合計	7,787,920	8,467,770

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当事業年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,997	301,735
短期借入金	400,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	354,876	334,251
未払金	115,417	159,706
未払費用	95,744	118,570
未払法人税等	39,254	311,717
未払消費税等	—	100,341
前受金	110,117	86,904
預り金	17,303	50,142
賞与引当金	37,336	51,583
ポイント引当金	47,450	62,271
流動負債合計	1,537,498	1,927,225
固定負債		
長期借入金	3,065,876	2,887,125
株式給付引当金	—	2,440
退職給付引当金	118,939	125,971
役員退職慰労引当金	215,900	223,650
資産除去債務	20,428	20,599
その他	39,819	39,819
固定負債合計	3,460,964	3,299,606
負債合計	4,998,462	5,226,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,839	448,623
資本剰余金		
資本準備金	405,339	411,123
資本剰余金合計	405,339	411,123
利益剰余金		
利益準備金	5,550	5,550
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,043,580	2,683,183
利益剰余金合計	2,049,130	2,688,733
自己株式	△107,851	△307,540
株主資本合計	2,789,458	3,240,938
純資産合計	2,789,458	3,240,938
負債純資産合計	7,787,920	8,467,770

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,374,415	9,543,737
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	532,222	718,784
当期商品仕入高	546,760	380,475
当期製品製造原価	4,354,790	5,236,399
合計	5,433,773	6,335,659
商品及び製品期末たな卸高	718,784	581,956
売上原価合計	4,714,988	5,753,703
売上総利益	2,659,426	3,790,034
販売費及び一般管理費	2,430,975	2,802,762
営業利益	228,451	987,271
営業外収益		
受取利息	297	126
受取手数料	1,089	123
受取配当金	322	322
為替差益	—	3,310
助成金収入	3,005	19,175
補助金収入	6,242	6,242
保険解約返戻金	36,172	429
その他	4,357	2,058
営業外収益合計	51,487	31,789
営業外費用		
支払利息	38,679	29,298
為替差損	8,777	—
その他	1,048	707
営業外費用合計	48,504	30,005
経常利益	231,434	989,056
特別損失		
固定資産売却損	128	—
固定資産除却損	0	3,327
減損損失	109,740	—
特別損失合計	109,869	3,327
税引前当期純利益	121,564	985,728
法人税、住民税及び事業税	61,766	320,649
法人税等調整額	△15,592	△14,829
法人税等合計	46,174	305,820
当期純利益	75,390	679,907

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	441,309	403,809	5,550	2,049,802	△45,357	2,855,112	2,855,112
当期変動額							
当期純利益				75,390		75,390	75,390
新株の発行	1,530	1,530				3,061	3,061
剰余金の配当				△81,612		△81,612	△81,612
自己株式の取得					△62,494	△62,494	△62,494
当期変動額合計	1,530	1,530	—	△6,221	△62,494	△65,654	△65,654
当期末残高	442,839	405,339	5,550	2,043,580	△107,851	2,789,458	2,789,458

当事業年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	442,839	405,339	5,550	2,043,580	△107,851	2,789,458	2,789,458
当期変動額							
当期純利益				679,907		679,907	679,907
新株の発行	5,783	5,783				11,566	11,566
剰余金の配当				△40,305		△40,305	△40,305
自己株式の取得					△199,689	△199,689	△199,689
当期変動額合計	5,783	5,783	—	639,602	△199,689	451,480	451,480
当期末残高	448,623	411,123	5,550	2,683,183	△307,540	3,240,938	3,240,938

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	121,564	985,728
減価償却費	797,953	739,809
減損損失	109,740	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	14,247
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	2,440
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,332	7,031
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,300	7,750
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△92,830	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△3,190	14,821
受取利息及び受取配当金	△620	△449
支払利息	38,679	29,298
為替差損益 (△は益)	11,109	1,169
固定資産売却損益 (△は益)	128	—
固定資産除却損	0	3,327
助成金収入	△3,005	△19,175
保険解約返戻金	△36,172	△429
売上債権の増減額 (△は増加)	140,810	112,419
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△199,878	4,418
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,799	△18,261
前払費用の増減額 (△は増加)	△25,561	△64,941
前渡金の増減額 (△は増加)	△88,560	△440,832
前受金の増減額 (△は減少)	△20,445	△23,212
未払金の増減額 (△は減少)	△30,311	56,766
未払費用の増減額 (△は減少)	△9,814	22,824
預り金の増減額 (△は減少)	△17,443	32,838
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,600	100,341
その他	35,344	84,725
小計	685,727	1,652,653
利息及び配当金の受取額	613	503
利息の支払額	△39,015	△29,023
助成金の受取額	3,005	19,175
法人税等の支払額	△33,271	△59,593
法人税等の還付額	50,514	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	667,574	1,583,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,406,152	△1,667,806
定期預金の払戻による収入	1,310,306	1,529,689
有形固定資産の取得による支出	△583,817	△770,125
無形固定資産の取得による支出	△24,064	△40,830
敷金及び保証金の回収による収入	—	350
保険積立金の積立による支出	△20,376	△7,467
保険積立金の解約による収入	89,767	1,173
その他	△11,370	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△645,707	△955,015

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	850,000
短期借入金の返済による支出	△600,000	△900,000
長期借入れによる収入	600,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△410,570	△399,376
株式の発行による収入	3,061	11,566
自己株式の取得による支出	△62,494	△199,689
配当金の支払額	△81,501	△40,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,496	△477,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,334	△2,596
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	59,029	148,264
現金及び現金同等物の期首残高	238,430	297,459
現金及び現金同等物の期末残高	297,459	445,723

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	1,038.13円	1,243.77円
1株当たり当期純利益金額	27.96円	255.70円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	27.34円	249.96円

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	75,390	679,907
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	75,390	679,907
普通株式の期中平均株式数(株)	2,696,564	2,658,955
潜在株式調整後1株当たり当期純利益額		
普通株式増加数(株)	61,252	61,104
(うち新株予約権(株))	(61,252)	(61,104)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 株式給付信託(J-ESOP)の信託契約に基づき、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前事業年度0株、当事業年度101,600株)。

また、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前事業年度0株、当事業年度33,681株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。